

## 愛知おやじの会研修会&親睦会（要旨）

日にち：平成26年2月8日

場所：浜名湖レイクサイドプラザ

研修会：15時から17時 会議室「ミコノス」

### 1：研修会

講師として特定 NPO 法人おやじ日本理事長竹花豊氏にお願いしていたが、あいにくの悪天候、45年ぶりの東京の大雪により交通機関が乱れており、残念ながら急遽キャンセルとなる。

竹花氏が用意していた資料を渡辺が披露。

その後、グループ討議を行う。各班ごとに別々のテーマで討議し発表した。

A班：大人として子どもに伝えるべき事

①：学校では、問題に1つの答えしかないが、社会では答えは一通りではない。自分で探して見つける事。

②：地域の中でいろいろな人と接する活動をして欲しい。地域の大人。

③：何をしても「お天道様がみているよ」。

④：最後には、自分の事は自分で決める。人様に迷惑をかけない。

⑤：大人同士が活動して楽しそうにやっているところで子どもに背中をみせよう。おやじが楽しくやっているところを、子どもに見せたい。

⑥：この地域の人や空気や風景等「ふるさと」を感じて欲しい。

⑦：無理なく地域活動に参加して。長続きするコツです。

⑧：PTAとは違う楽しさを伝える。都合のつく人が楽しくやる。

B班：日本の自信のない中高生について（青少年研究所の報告から）

①：自分がだめな人間であると答える子どもが多いのは、日本人の文化ではないか。

②：周りの環境に対して悲観的にとらえる傾向があるのではない

か（人間関係でも、家庭の事情でも）。

③：学校という閉鎖社会にいるためではないか。

④：先生が、点数（内申）によって子どもを抑えるのではなく、先生の徳を持って教えられるようなレベルの先生がいない。教師の質を担保しなければいけない。その為には、教師の待遇（給料を倍など）を良くする必要があるのではないか。

⑤：学校で、先生が子どもに失敗させないような教え方をしているように思われる。失敗を重ね、失敗を恐れない子どもにする必要があるのではないか。

⑥：小さな成功体験を積ませる事が自信につながる。

⑦：親は自分の子どもを信用し、いろんな事を体験させる事が大事。

⑧：成功した時は、よく誉める事。海外は誉め方が半端ない。

⑨：日本人は、プラス思考になりづらい。うまく誉めてプラス思考にさせる。

⑩：幸せである事を教える。他人と比較して不幸であるというばかりをみている。勉強できる幸せも。

⑪：子どもの機嫌を取るような、勘違いしたコミュニケーションに終始していないか。

C班：おやじ日本の取り組みについて

①：「83運動」は初耳であった。

②：素晴らしい運動なので、取り入れられれば良いと思う。

③：登校時、校長先生とともに見守りは旗当番。

④：下校時は、メール等が来た時に出来る人が見守りをしている。

⑤：老人会のひと等、比較的時間に余裕がある方が協力してくれる。

⑥：毎日見守る事で、表情の変化などを見つける事が出来る。

⑦：コミュニケーションをとる事が大切である。

D班：これからのおやじの会に出来る事

①：「地域のおやじの会」にして行けば良い。

- ②：出来る人で、出来る時に、出来る人がやれば良い。
- ③：現状は、学校のお手伝いが中心である。(運動会、学芸会、学校に泊まる会、もちつき(田植えから)、学校の配線、排水溝の掃除など)
- ④：おやじがそれぞれの立場で PTA とは独立して出来る範囲でやる。
- ⑤：予算は独自で(会費をとる団体もある)。
- ⑥：教員も会員に誘う。
- ⑦：子どもにも体験させる。
- ⑧：会員をさらに募集したい(なかなか手紙が親に届かない)。
- ⑨：出来たばかりの学校ではサラリーマン家庭が多い。年4回の遊び塾と祭りをやっている。PTAは、女性が多く、男性が手伝う。
- ⑩：「やらされ感」はダメ(PTA等)。年1回でもいい。
- ⑪：学校に対する要望は、校長からいうと命令になってしまう。  
 おやじの会から教員を誘う。  
 快く来れる時間がある人は来て欲しい。  
 先生たちも仲良くしよう。  
 ひまなら子どもたちのために来てよ。  
 先生たちも楽になってもらいたい。  
 出来ればイベントだけでも来てもらいたい。  
 仲良くなりたい。
- ⑫：小学校は、子どもたちと一緒に活動するのがメイン。
- ⑬：中学校は、「木の札」作り「裏に夢を書く」などするが、半分以上は先生が対象で子どもの話をするなど。中学生の子どもは忙しい。

各班ともいろんな意見が出て、和気あいあいとディスカッションが出来た事は大きな収穫であったように思われる。

## 2：親睦会

研修会の終了後、宿泊者を中心に親睦会を行う。おやじの会のメンバーであるので、当然はじめから和気あいあいと親睦を深める事

ができた。

終了後、一風呂浴びて会長の部屋で二次会。22時過ぎまでおおいに語り合う。就寝。

## 総括

今年度は、愛知おやじサミットを開催できなかったため研修会&親睦会という形で愛知おやじの会の活動を行った。浜名湖レイクサイドプラザは、非常に居心地の良い施設であり、会場の手配をしていただいた会長の中西さんに感謝である。

愛知県を出ての開催であったこともあり、また甚目寺、江南、大口町からは遠く、残念ながら愛知県の西寄りの方々の参加が得られなかった。次に研修会&親睦会を行う場合には、愛知県の西よりの施設も考えたい。

あいにくの天候で、竹花理事長に来ていただけなかった事は大変残念であったが、なにぶん天候の事なので致し方ない。竹花さんのお話を期待していた会員は大変残念がっていた。しかし、竹花理事長には、多くの資料を用意していただき、その資料から竹花さんの思いの一部を感じさせていただき、それだけでも大変よい勉強になった。やはり機会があれば、是非じかにお話を聞きたいというのが、愛知おやじの会会員の総意である。

討論会では、熱くディスカッションが行われ、お互いの意見を言い合い理解が深まったものと思われる。和気あいあいと議論できた事が一番大きな収穫であろうと思われる。

次年度は是非愛知おやじサミットを開きたい。中西会長にお骨折りいただき、豊川での開催が待望される。愛知県下の多くのおやじの会の参加を期待するとともに働きかけて行きたいと思う。

文責：渡辺嘉郎